

相濟みおせんは無沙汰ゆかり致しと居りませう

其は此等、標にはお悪りもは居いませんか何伺ひ  
申上すや、弘が糸りおして一方ならぬは世話標に  
成りおして有難うは居いませう、標は上陸に付りお  
しては大悪なお骨折を戴りおしたやと存しお  
す。東西も分らぬ者が何から何迄もお心添く  
に依つて一向くと重ぬて行けるやの出来るのを深  
くお礼申上すや。少しは仕るやになれてお来た  
しように、其のみ安じて居りませう

弘の上陸早々賀多志さんから送つて下さいました  
お宅のお子標方、見違える標に大きく成る居  
られるやを思ひ早や義弟も相見ぬ日になつたしく  
私方の子供も、比、大きく成りおして一人勝が私より  
小さいで、宜いも、や、より、少し小さいで、律子も  
私より大分高く、律子の服を着て見れば、手の甲

かかくれる位です。ハ、も元気で毎日仕事をして居り  
ます。どうも海軍に下さい。それとアメリカの株なべから  
の友達か本本おせいの淋しいお座りです。

私も悪自心一か本征してから始めると今冬は山へ、之が  
刈りに行かれました。田草取や山行で遊びに二三日でも  
来たかと思つて居りましたのも、いけませんでした。

一も今年の七月二十日に早稲を刈りし。唯今は上海  
の近くに居る株です。通信は交り致しませうけれども内地よ  
りおす分は日附等しても差支へ無く、向ふからおは  
たも日附も書いて無いので想像するより外は方か有  
りませう。久保は、お一番か藤原猪之吉氏長男堅  
之が現役で朝鮮から出征され、次は宅か一と林勘功  
之。海軍には再役されて居る海野世子、河原猛之  
九七郎氏長男とです。之は戦地へは行か居られ  
ませう。本年五月船戸三郎、藤原正義、岩槻  
春義、近くは海野正志、小林敏夫、藤原太郎、  
岩槻萬一、諸氏、春義之一人岡山に居るかと

他は戦地へ行部<sup>て</sup>居り、昨年事変起るや出征兵士  
見送、戦傷病者平癒の祈願祭。百社巻掛  
等随分出る予、加澤山有りあり。喜も真綿を  
りに四人夫出ました。部落全部には有りませ  
又お祭過かには又春より多くと真綿を作らねば  
成らんかです。早く戦地へ送る可くみんな一里縣命  
です、小學生等靴をはかずに、みんな自ら作らせた  
ソリーも、はいて登校して居ります。物價は高いけれ  
ど公定價額が定つて居りますので商人の暴利は  
取れん様になって居ります。

去年の稲作は上出来でみんな喜んで居ります。

とうもろこし採りもは大切になつて居ります。

先は延引ながら秋を兼ね、久々の無音の秋の道。

昭和十三年十月十日

玉起

海野は兩人採

とうもろこし、共宜敷の世話下さり、採りも靴の上り

海野絹太郎



Mr. K. Uno

R. 5. Box 5

Seattle, Wash.

U. S. A.

⑧

周山縣志卷之三  
甘肅札

海寧縣  
札